

「ベンチャー・スタートアップ展示会InnoVEX 2023」

歐 元 韻

今回は5月30日から6月2日の間、台北市にて開催されました「InnoVEX 2023」についてご紹介したいと思います。こちらのビジネスイベントは、世界最先端のIT技術やビジネストレンド、斬新なアイデアで業界に革新を起こしたスタートアップ企業、並びに先端技術などを紹介することで知られた展示会です。

近年はアジア最大規模の情報技術見本市として知られた「台北国際コンピュータ見本市」と隣接会場にて同時開催されていますので、世界各地の業界関係者からより注目を集めています。また、グラフィックスプロセッシングユニットの設計に特化した半導体メーカー、エヌビディア社の創業者であり、AIの父と呼ばれているジェンスン・ファン氏が台湾に里帰りをし、講演を行うということで例年以上の盛り上がりでした。

蔡英文総統もオープニングセレモニーのスピーチで、台湾の半導体関連産業の繁栄ぶり及びハイテク力の高さを強調し、全世界の科学技術産業における台湾の重要性と、中心的な役割を担う存在として今後目指していく方向性を国内外に向けアピールされました。

＜日台IoTシステム・デジタル産業ビジネスマッチング＞

今回の「InnoVEX 2023」展示会において、日本台湾交流協会が初めて展示会場内に日本のIoTシステム・デジタル産業関連企業コーナーを設け、各企業と台湾企業及び諸外国企業とのビジネスマッチングを試みたことで、注目を集めました。



【公益財団法人日本台湾交流協会ブース風景】

日本側からの出展企業は東京、埼玉、神奈川、福島、茨城、熊本におけるベンチャー企業やスタートアップ企業が中心で、出展商品も、半導体洗浄用オゾン水生成装置、次世代型フレキシブルプリント配線板、イチゴ栽培生産管理システム、0歳児からのプログラミング学習セット、ロボットプログラミング学習セット、高精度ガン診断色彩カメラ、ナノブリッジメモリコア、クラウドファンディング活用日台架け橋プロジェクト

ト、ポップカメラ、インソムノグラフ睡眠計測サービスと、現代のデジタルライフに対応した出展内容となっていました。また、企業規模や従業員数が比較的小規模でも、海外に向けてビジネス展開を図りたい意欲に溢れた出展企業ばかりです。

もちろん、ビジネスマッチングでは台湾の名だたる企業担当者や、後述する台湾政府系シンクタンク、工業技術研究院の担当者も興味のある日本企業のブースを訪れ、面談を行っていました。こうした取り組みは、広島県のベンチャー企業やスタートアップ企業の中にも、多かれ少なかれ海外でのビジネス展開に興味を持たれている企業がいらっしゃるかと思いますので、ぜひこの機会に一度出展をご検討いただけたらと思います。

＜台湾のベンチャー、スタートアップ企業支援環境＞

ここからは、台湾のベンチャー企業やスタートアップ企業の成長を外部からサポート、バックアップしている台湾政府系シンクタンク、工業技術研究院を中心に話を進めていきたいと思います。現在の台湾では、半導体業界を含めたハイテク関連産業の成長は台湾経済全体の浮沈に影響を及ぼすと言っても過言ではありません。もちろん、台湾政府も業界の動向には常に注意を払い、最重要事項の一つとして捉えていますので、工業技術研究院が果たす役割は年々重要度を増しています。

過去、彼らがサポートしてきたベンチャー企業の中には、今や世界的企業となったTSMC・台湾積体電路製造(股)公司(半導体製造)をはじめ、聯華電子(股)公司(半導体製造)、台灣光罩(股)公司(半導体製造用マスクの研究・販売)、晶元光電(股)公司(LED)、盟立自動化(股)公司(自動化機械開発)といった、今日の台湾ハイテク関連産業の中心を担うそうそうたる企業が名を連ねています。恐らく、今後もハイテク産業分野のベンチャー企業やスタートアップ企業を工業技術研究院が技術サポートすることで企業の成長をより加速させるという図式は不変であり、より強固なものになると考えます。また、台湾政府のアメリカ・シリコンバレーを参考にしたベンチャー企業やスタートアップ企業の創出につなげる環境整備に徹した取り組みは、台湾のベンチャー、スタートアップ企業によるイノベーション創出を促し、ひいては雇用促進、経済力の強化に繋がっており、国内外からも高い評価を受けています。